

宇和島市地域調査研究事業 課題提案書

年度	令和8年度	No.	①		
テーマ	宇和島城上り立ち門の年代判定				
提案者	組織・部署 の名称	宇和島市教育委員会 文化・スポーツ課			
	所在地	宇和島市曙町1番地			
	担当者	氏名	安藤 裕之		
		電話番号	0895-49-7033	F A X	0895-22-5058
		メール	bunka@city.uwajima.lg.jp		

※所在地・担当者氏名等は、企画課からの連絡等に記入を求めるもので、研究事業募集の際には公表いたしません。

課題の内容	宇和島城南登城口に立つ「上り立ち門」は当初伊達氏宇和島入部以降の建造物と考えられていたが、平成18年度の修理工事の際に取り替えた部材を使用して放射性炭素年代測定を行った結果、藤堂高虎築城期である慶長年間の建築である可能性が浮上した。しかし、建築様式を比較した学術論文や報告書等がないことから、重要文化財や県指定文化財を目指した情報提供ができない状況にある。				
提案背景 ・現況	構成員	宇和島市教育委員会			
	実施箇所	上り立ち門（宇和島城南登城口）			
	実施状況	上り立ち門については、平成18年度の修理工事の際に放射性炭素年代測定を行っており、およそその年代判定は行っている。しかし、その際に報告書が刊行されておらず、建築様式を比較しての年代推定も行っていないことから、重要文化財や県指定文化財としての情報提供が行えない現状にある。			
	その他	平成18年度実施の放射性炭素年代測定（AMS法）のデータは提供可能			

大学等に 求める 研究内容	①上り立ち門の詳細図面の作成 ②他の城郭の門（既に移築したものも含む）と比較した建築的特徴の抽出及び建築年代の推定				
期待する 効果	学術調査の結果によっては、報告書を作成して重要文化財候補や県指定文化財候補として情報提供ができる。 また、学術的な年代推定によって宇和島城内に残る唯一の慶長期建築物と判明すれば、今以上に宇和島城の観光資源が向上する。				

※ 複数ページにわたっても構いません。適宜行を広げて記載してください。